

お茶の時間

トップ・プロの矜持

廣瀬 誠 陸自73

2022マスターズの最終日。

最終ホールのグリーンに、赤いシャツのウッズが、姿勢良くゆつくりとのぼってくる。そうと知らなければ、かすかに足を引きずっていることには気がつかないかも知れない。

ホールアウトの後、両側の人垣のなかを、やや足早にクラブハウスに向かう。クラブハウスの前で、二人ほどと挨拶を交わしただろうか。そのあと、クラブハウスの階段を下りるウッズの姿が、私にとって今年のマスターズの最も印象的なシーンだった。ウッズは、片手で手摺りを握ると、苦痛に身体を前に傾け片足をかばうように階段を下りていったのである。

足を切断するかも知れないほどの大けがを負ってほぼ1年余りで、この大舞台に復帰しただけでも驚きであるが、苦痛を表に出さず予選を通過し4日間の戦いを見事に全うしたことに、乾杯！